

岩手看護短期大学紀要投稿規定

2005年11月改定

岩手看護短期大学紀要編集委員会

岩手看護短期大学は、その教育と研究の諸活動を発展させ、高等教育機関に課せられた社会的責務を果たし、看護学などの学術の進歩に貢献することを目的として、紀要を発行する。

紀要の名称は、「岩手看護短期大学紀要」（以下「紀要」という）とする。なお、英語での名称は BULLETIN OF IWATE COLLEGE OF NURSING とする。紀要は、年 1 回定期的に発行する。

1. 投稿者の資格

紀要への投稿資格者は、次のとおりとする。

- 1) 本学専任教員、非常勤講師、在学生
- 2) 本学に在籍していた教員、卒業生
- 3) 1 または 2 の共同研究者、その他紀要編集委員会が適切と認めたもの。

2. 原稿の種類

原稿の種類は、総説、原著論文、研究ノート、事例ノート、その他とし、和文もしくは英文で記述する。それぞれの内容は下記の通りである。

- 1) 総説：看護学などの特定のテーマについて多面的に内外の知見を集め、総合的に現在の研究の状況を概説したもの。
- 2) 原著論文：著者が行った独創的な研究について、論理的にまとめられた論文であり、新しい知見や理解、知識として意義が明らかであるもの。
- 3) 研究ノート：論文としては、内容的に原著論文に及ばないが、研究結果の意義が大きく、すぐに知らせる意義のあるもの。
- 4) 事例ノート：事例についての報告で、今後の実践に役立てられるもの。
- 5) その他：看護学などに関する見解などで、編集委員会が適当と認めたもの。

投稿論文などの内容は、他の出版物に既に発表あるいは投稿されていないものに限る。重複投稿は禁止する。

3. 倫理的配慮

研究対象者に対して倫理的に研究が行われており、論文中でも匿名などに配慮がなされていること。

4. 投稿手続

印刷した原稿 1 部、および本文を Word 形式 (Microsoft) で保存したファイル (フロッピーディスク) を下記に郵送あるいは持参する。図表の提出については、原稿作成の要領の項を参照すること。原稿の受付後直ちに、紀要編集委員会から、原稿の受付日と受付番号を投稿者に知らせる。郵送にて提出する場合は下記の住所に送付すること。

〒020-0751 岩手県滝沢市大釜千が窪14-1 岩手看護短期大学 紀要編集委員会

5. 原稿の受付および採否

- 1) 原稿の採否は紀要編集委員会が決定し、代表著者に通知する。
- 2) 紀要編集委員会は、原稿を該当する分野の研究者に査読を依頼し、その意見を参考する。
- 3) 紀要編集委員会の判定により、原稿の修正および原稿の種類の変更を著者に求めることがある。修正を求められた場合は原則として2週間以内に修正原稿を再投稿するものとする。
- 4) 投稿された原稿は、理由の如何を問わず返却しない。

6. 原稿執筆の要領

- 1) 原稿は原則として、ワードプロセッサで作成する。
- 2) 原稿は、A4版横書きで、1行の文字数を35字、1ページの行数を28行（約1,000字）とし、適切な行間をあける。数字とアルファベットは半角文字を用いる。
- 3) 投稿原稿の1編は本文、図表を含めて下記の枚数以内とする。
総説：12枚以内（12,000字以内）
原著論文：16枚以内（16,000字以内）
研究ノート、事例ノート：8枚以内（8,000字以内）
卒業論文、看護学士論文：16枚以内（16,000字以内）
その他：12枚以内（12,000字以内）
また英文の場合は、60,000words以内とする。
- 4) 原著論文の構成は、原則として要旨、序論、方法、結果、考察、謝辞、引用文献、図表の表題と説明文、図表とする。また、原稿には表紙を付し、掲載を希望する原稿の種類、題名、著者名、所属機関、住所、代表著者の名前と連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）、キーワード（3語程度）、図表の数を記載する。
- 5) 要旨は、背景、目的、方法、結果、考察または結論を簡潔に400字以内で記す。引用文献は必要最小限にとどめること。文献を引用する場合は、引用順に右肩に方カッコで通し番号¹⁾、²⁾をつけて表し、文献名は、原稿の引用文献の項で、引用順に一括する。引用文献の記載方法は下記に従う。

●雑誌の場合

「著者名、表題、雑誌名、巻、最初と最後の頁、西暦発行年」

例：

- 1) 岩手太郎、陸奥花子、看護教育における情操教育の必要性 - 岩手看護短期大学の取り組み -、看護教育理論, 18: 218-232, 2005
- 2) Watson, L.F., Hartwell, S., Brenner, D.O. Recognition of maternal identity in preterm and fullterm mothers. International Journal for Midwives, 23, 119-127, 1997

●単行本に収録されている文献の場合

「著者名、表題、書名（編集者名）、最初と最後の頁、出版社、西暦発行年」

例：

- 3) 玉井真理子、遺伝カウンセリングと面接技法、遺伝カウンセリングマニュアル改訂第2版（新川詔夫監修、福嶋義光編）、pp21-24、南光堂、2003
- 4) Doyle, D.L. Medical documentation, A guide to genetic counseling (Ed. Baker, D.L., Schuette, J.L. and Uhlmann, W.R.) pp231-248, Wiley-Liss, 1998

●電子文献の場合

「web siteの設置者名、web address、アクセスした日付。」

例：

5) 社団法人 日本看護協会、<http://www.nurse.or.jp>、2005-10-21.

●著者が5人以上の場合

「滝沢一郎、大釜良子ほか」、「Young, W.B., Lehrer, E.L., *et al.*」のように最初の2名のみ記載する。

6) 図表はDOC, PPT, JPEG, GIF形式で保存したファイルとする。図と写真は、和文原稿では図1、英文原稿ではFig. 1のように通し番号をつける。表も同様に表1、Table 1のように番号をつける。図表は、本文を参照しなくともその図表のみで内容が分かるように工夫する表題をつける。また各々の図表には、簡潔な説明文を付けることが望ましい。

7) その他の規則

- 学術用語は原則として「医学大辞典」「看護学大辞典」による。外国語は極力避け、その使用は適当な日本語がない場合に限る。
- 日本語訳が定着していない学術用語などは原則として原綴で、一般に日本語化された外国語はカタカナを用いる。薬品名は一般名で記載する。
- 数字はアラビア数字を用い、単位記号は原則として国際単位系（S I 単位）を使用する。
- 表題には略語を用いないこと。但し、略語を使用した方が分かりやすい場合は認められる。
- 本文中に略語を用いる場合は、一般に使われているものに限る。その場合、初出の際に省略していない語を記載し、カッコ内に略語を示す。

7. カバーレター

投稿に際しては、原稿を重複投稿していないこと、倫理的に配慮された研究であること、共同研究者の承諾を得ていること、を記載した手紙を添えること。

8. 著者校正

査読を経て、紀要編集委員会に受理された投稿原稿については、印刷前に著者校正を一回行う。但し、校正の際の加筆は原則として認めない。

9. 著作権

著作権は岩手看護短期大学に帰属する。掲載後は本紀要編集委員会の承諾なしに他誌に掲載することを禁ずる。最終原稿提出時、紀要編集委員会より提示される著作権譲渡同意書に共同著者の承諾のもと、代表著者が自著署名し、論文に添付すること。

10. 著者が負担すべき費用

掲載料は原則として無料とする（但し、図表など印刷上、特別な費用を必要とした場合は、一部を著者負担とする）。